

東北復興グリーンウェイフ
被災地を応援する子どもたちによる緑のまちづくり

被災地に緑と心の復興を！Project-D

2011 年度事業実施報告



財団法人 日本環境協会

2012年2月22日

TEL 03-5643-6251



本事業は「緑の募金」（東日本大震災復興事業）の支援を受けて実施しています。

写真：送られた被災地のドングリを植える子どもたち（滋賀県大津市）

はじめに

本事業は、2011年3月11に発生した東日本大震災からの復興に対して、全国の子どもたちが貢献できる事業を作ろうとの思いから生まれました。2011年は、国連が定めた「生物多様性の10年」の幕開けの年であること、また「国際森林年」であったことから、森林と生物多様性を結びつけて子どもたちが被災地のためにできるプログラムとして「被災地に緑と心の復興を！ Project-D」が芽吹いたのです。



東日本大震災によって、岩手・宮城・福島の3県では、広大な森林が大きな被害を受けました。被災地に豊かな森林を再生するには、何百万本もの苗木を育て、植えていく、何十年もかけた取組が必要です。

全国の大人や子どもたちが被災地とつながり、さまざまな形で応援することにより、被災地の子どもたちとともに、被災地の生物多様性に配慮した豊かな生態系と子どもたちを育む『Project-D』をスタートしました。

種子の採取地や植樹地の想定を含む被災地のニーズ把握、事業実施体制の整備、資材や保管場所の確保、資金源などのめどがある程度できた後に事業を始めることができれば良かったのかもしれませんが、しかし、秋に事業を開始できなければスタートの時期が1年遅れます。震災の記憶が生々しいうちに、国際森林年が終わらないうちに、この事業を始めたかったのです。準備不足の中でスタートしたにもかかわらず、「公益社団法人国土緑化推進機構」、「社団法人日本植木協会」、「生物多様性と子どもの森づくりキャンペーン実行委員会」、被災地をはじめとした関連団体のご協力により実施しました。暖かいご支援を賜りました。心よりの感謝を申し上げます。

目次

はじめに.....	1
事業の目的.....	3
活動内容.....	4
2011 年度事業報告.....	5
1 被災地で緑化活動に関わる組織との関係を築く.....	5
2 被災地の森林被害の状況を把握.....	6
3 放射線量測定・種子保管方法の検討.....	7
4 どんぐりの採取と播種イベントを開催	8
5 『どんぐり育て方マニュアル』の作成	9
6 どんぐりの配布.....	9
7 広報活動.....	11
主催団体.....	12



事業の目的

1 全国でつながる ～被災地と全国の子どもたちの心をつなぎます～

- ・ 3県で採取したどんぐりを、被災地と全国で育てます。
- ・ 被災地と全国がどんぐりを通じてつながることで、震災で傷ついた子どもたちの心が癒やします。
- ・ 全国の子どもたちも、復興への貢献を実感しながら行動します。



宮城県名取市関上海岸(2011年9月)

2 生態系を育む ～遺伝子の攪乱を防ぎながら豊かな生態系を保全します～

- ・ 将来の不足が懸念される被災地周辺の種子から苗木を育て、採取地に近い地域への植樹を通して、遺伝子の攪乱を防ぎます。
- ・ 育てた苗木は、海岸林の再生等に向けて植樹され、被災地の豊かな生態系の保全に貢献します。

3 人を育む ～未来の地域と地球の生態系を育む心を育てます～

- ・ この事業への参加を通して、子どもたちに地域と地球の生物多様性保全への理解を深めます。
- ・ 苗木を育てた子どもたちが全国から集う記念行事等を通して、未来の地域と地球の生態系を育む子どもたちの心を育てます。



活動内容



全国の子どもたちが中心となって、被災地に植える広葉樹の苗木を、被災地周辺でとれた種子を使って育てることを通じ、被災地の子どもたちを応援する気持ちを届け、復興を支援するとともに、地域の生態系に配慮した緑化に貢献します。

東日本大震災では、多くの森林が被害を受け、さらに公園や学校などの緑地も大きな被害を受けました。これらの地域で必要とされる緑化用苗木づくりに被災地及び全国の子どもたちが協力して取り組むことによって、被災地の子どもたちを励まし、心を癒す効果が生まれます。また、ふるさとの緑を再生し、震災からの復興のシンボルとして、被災地の人々による地域再生に向けた取り組みを後押しします。

2011 年度事業報告

本年度は、事業のスタートの年であることから、実施体制の整備、広報、採取と発送の試行、協力団体への呼びかけを重点的に行いました。

1 被災地で緑化活動に関わる組織との関係を築く

- 成果1 岩手県、宮城県、福島県の3県を訪ね、県の関連部署の方々と面会して事業を説明するとともに、事業への協力をお願いしました。
- 成果2 岩手県、宮城県、福島県の3県を訪ね、現地で活動する民間の緑化関係団体の方と面会して事業を説明するとともに、事業への協力をお願いしました。

	行政機関	民間団体等
岩手県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農林水産部森林保全課 ・ 環境生活部環境生活企画室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (特活)環境パートナーシップいわて ・ (特活)どんぐり協会
宮城県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農林水産部森林整備課 ・ 環境生活部環境政策課 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (特活)宮城県森林インストラクター協会 ・ ゆりりん愛護会 ・ (特活)サイカチネイチャークラブ ・ (特活)せんだい・みやぎNPOセンター ・ 東北環境パートナーシップオフィス
福島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農林水産部森林保全課 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (特活)いわきの森に親しむ会 ・ (財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団 ・ 福島環境カウンセラー協会



宮城県森林インストラクター協会が
運営する宮城県青少年の森



いわきの森に親しむ会が運営する
湯ノ岳山荘

2 被災地の森林被害の状況を把握

- 成果1 岩手県、宮城県、福島県の3県を訪ね、震災による森林被害の状況を踏査しました。津波による被害が大きかったものの、高台や内陸では被害の少ない広葉樹林も少なくないことがわかりました。
- 成果2 福島県においては、放射線による野外活動の制約状況などをヒアリングしました。福島第一原子力発電所の事故によって放出された放射線が、子どもたちの野外活動の妨げになっていることがわかりました。

■現地踏査の記録

7月20日	宮城県名取市関上小学校付近
7月21日	岩手県宮古市～釜石市にかけての三陸海岸
8月2日	福島県南相馬市原町付近の海岸
8月2日	福島県安達郡大玉村フォレスト-パークあだたら
8月3日	福島県いわき市湯ノ岳山荘～いわき市沿岸部
9月10日	宮城県名取市関上海岸



宮城県名取市関上小学校



岩手県山田町津波被害

3 放射線量測定・種子の保管方法の検討

- 成果1 東京都水道局浄水部水質担当課から放射線量の測定方法や安全性についての考え方をお聴きしました。また、同課のはからいにより放射線量測定装置（ベクレルモニター LB200）をお借りし、被災地から届いたどんぐりの線量測定を試験的に行いました。
- 成果2 どんぐりを発送するまでは冷蔵保存が必要ですが、人体に影響がでないほどの微弱ではあっても、わずかながら放射線が検出されたどんぐりを保管していただける場所を探し、確保できました。
- 成果3 東京都港区の小学校で用いている線量計をお借りして、被災地から届いたどんぐりや木材の放射線量測定を行い、安全性を調べる試験を行いました。
- 成果4 助成金を用いて線量計（クリアパルス社製 Mr.ガンマ A2700）を1台購入し、送られてきたどんぐりについては線量測定ができる体制が整いました。



東京都水道局からお借りしたベクレルモニター



購入した機器でどんぐりの線量を測定中

4 どんぐり拾いと播種イベントを開催

- 成果1 プロジェクト-Dの実施要項・募集要項を作成し、関係各所に協力を依頼した結果、今年度は被災地での種子採取イベントを7回開催していただきました。
- 成果2 被災地での播種イベントを1回、被災地以外の地域での播種イベントを1回開催していただきました。



サイカチネイチャークラブ
どんぐり拾いイベント

■どんぐり拾いイベント等の実績

活動日	活動地	主催者名	種類	重量 kg
23.10.4	宮城県登米町	登米町森林組合	クヌギ・コナラ	10
23.11.11	福島県南相馬市	福島環境カウンセラー協会	コナラ	0.5
23.11.11	福島県玉川村	福島環境カウンセラー協会	コナラ	3
23.11.11	福島県福島市	福島環境カウンセラー協会	クヌギ、コナラ、シラカシ	1.5
23.11.11	福島県郡山市	福島環境カウンセラー協会	コナラ	7.5
23.11.12	岩手県一関市	どんぐり協会	コナラ	5
23.11.13	宮城県仙台市	サイカチネイチャークラブ	コナラ、シラカシ、クヌギ	20
23.11.15	宮城県仙台市	みどりの森幼稚園	クヌギ、マテバシイ、コナラ	4
23.11.19	福島県いわき市	いわきの森に親しむ会	マテバシイ、コナラ、クヌギ	5
	合計			56.5

■どんぐり播種イベント等の実績

活動日	活動地	主催者名	種類	参加人数
23.12.11	宮城県仙台市	サイカチネイチャークラブ	クヌギ・コナラ等	22
24.1.14	神奈川県横浜市	野島自然観察探見隊	スダジイ等	50

5 『どんぐり育て方マニュアル』の作成

- 成果1 助成金により、本事業の概要とどんぐりの育て方を記したマニュアルの企画・原稿作成・デザイン・レイアウトを行いました。原稿作成には社団法人日本植木協会、イラストには社団法人全国森林レクリエーション協会のご協力をいただきました。



- 成果2 体裁は A5 版の判型、フルカラー、16 ページの冊子として、5,000 部を印刷しました。
- 成果3 マニュアルは、どんぐりの育苗に申し込んだ方に種子を発送するときに同封しました。

6 どんぐりの配布

- 成果1 1月中旬から下旬にかけて、集まったどんぐり約1万個を2000人に配布しました。
- 成果2 採取地の明らかなどんぐりを育苗協力者に確実に送付できました。



■どんぐりの育苗協力者数実績

	都道府県	団体数	参加者数
1	北海道	2	9
2	青森	2	38
3	岩手	1	4
4	茨城	2	26
5	栃木	2	13
6	埼玉	5	188
7	千葉	4	165
8	東京	6	382
9	神奈川	4	79
10	新潟	2	41
11	富山	1	4
12	石川	1	5
13	静岡	1	55
14	岐阜	1	4
15	愛知	6	72
16	三重	3	314
17	滋賀	3	19
18	京都	1	15
19	大阪	4	66
20	兵庫	7	68
21	岡山	3	13
22	広島	1	31
23	徳島	2	26
24	高知	1	14
25	福岡	3	18
26	佐賀	1	250
27	大分	2	38
28	熊本	1	50
29	鹿児島	2	7
30	沖縄	1	5
	合計	75	2,019



昨年の東日本大震災で広葉樹が失われた地域の近くで採取したどんぐりを、全国の子どもたちが育て、苗木にして、被災地に戻して植樹するという「どんぐりプロジェクト (Project-D)」を知りました。しばらく前にどんぐりを送っていただき、土も買って、植える準備はしていたのですが、外は寒いですし、作業が面倒でもありますから、冷蔵庫のなかに入れておきました。

子どものお友だちが遊びに来てくれたので、「いっしょに植えてみる？」と、うまく誘うことができ、14個のどんぐりを植えました。このプログラムは、子どもたちの被害にあわれた方々への関心や環境意識を喚起する意味もあるようです。

(参加者

の報告・抜粋)

7 広報活動

- 成果1 2011年12月16日、日本最大級の環境イベント「エコプロダクツ2011」のステージにおいて本プロジェクトを紹介しました。アハメッド・ジョグラフィ国連生物多様性条約事務局長が登壇し、Project-Dの意義を称えました。
- 成果2 2012年1月国連生物多様性条約事務局がProject-Dに関するコミュニケを発表し、その意義を称えました。
- 成果3 2012年1月23日、「グリーンウェイブ2012キックオフ・フォーラム」(会場：東京都港区エコプラザ)において「東北復興グリーンウェイブ Project-D」の概要を発表しました。
- 成果4 生物多様性と子どもの森キャンペーンのホームページに本プロジェクトのコーナーを設け、広報を行いました。



エコプロダクツ2011の
ステージ上のジョグラフィ氏



エコプロダクツ2011で子どもたちが
木の葉で遊ぶイベントを見るジョグラフィ氏

主催団体

財団法人日本環境協会

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 1-4-16 馬喰町第一ビル 9階
電話 03-5643-6251 FAX 03-5643-6250
dongri@earth.email.ne.jp

公益社団法人国土緑化推進機構

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 (B棟 5階)
電話 03-3262-8451 (代表) FAX 03-3264-3974

社団法人日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 6-4-22 三沖ビル 3階
電話 03-3586-7361 FAX 03-3586-7577

「生物多様性と子どもの森」キャンペーン実行委員会

〒168-0063 東京都杉並区和泉 2-17-5 公益財団法人オイスカ内
電話 03-3322-5161 FAX 03-3324-7111

